



奈良県感染症情報

令和3年 第11週(3月15日～ 3月21日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- ～新型コロナウイルス変異株について(令和3年3月21日時点)～

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.97	(2.85)	→	↘	→	→
2	突発性発しん	0.56	(0.53)	↗	↑	↗	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	0.50	(0.56)	→	↘	→	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.41	(0.29)	↗	↓	↑	↗
5	ヘルパンギーナ	0.06		↑↑	→	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

咽頭結膜熱の報告数が増加しており、特に中和保健所管内東部地域からの報告が多くなっています。主な症状は発熱や咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血で、目の症状は片方から始まり、その後もう片方の目にも現れます。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。流水と石けんによる手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けるようにしてください。

新型コロナウイルス感染症について、県内の第11週の新規感染者は58名と増加傾向にあり、変異株が複数確認されています。変異株であっても、個人の基本的な感染予防策は、三密の回避、マスクの着用、手洗いなどがこれまでと同様に有効です。感染の再拡大を防ぐため、引き続き、感染予防対策を継続して頂くようお願いします。

～新型コロナウイルス変異株について(令和3年3月21日時点)～

変異株について、当県では、奈良県保健研究センターで実施したPCR検査結果が陽性となった検体のうち、遺伝子解析のしやすい、ウイルスの遺伝子が多い検体を国立感染症研究所へ提出し、遺伝子解析を実施することで変異の有無を調べていましたが、令和3年3月1日以降、奈良県保健研究センターで変異株PCR検査を20例実施し、N501Y変異のある変異株を7例検出しました。

検査によりN501Y変異があることが分かった後、国立感染症研究所へ検体を提出、遺伝子解析を行い、どの系統の変異株であるかを調べています。

N501Y変異のある株について

- ✓ 英国、南アフリカ、ブラジルで確認された変異株に共通したもので、従来株より感染性の増加が懸念されています。
- ✓ 迅速な対応のため、各自治体で全陽性患者数の5～10%分の検体を対象に変異株PCR検査を実施することになっています。当県では、奈良県保健研究センターでPCR検査陽性と判明した検体のうち、遺伝子解析のしやすい、ウイルスの遺伝子が多い検体を選んで検査を実施しています。
- ✓ これらの変異株に感染していることが確定したものや、その濃厚接触者に対する入院措置や退院基準は、当面の間、入院の際には原則個室対応、退院の際は症状軽快後2回の陰性確認が必要となっています。



出典:厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/content/LLS_tearai_s.pdf

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

